

踏切障害に伴う安全確認により 列車の遅れが頻発している。

安全を確認することは必要だが、 歩行者への啓蒙活動だけではなく、 踏切の抜本的改善を要求

名古屋地本は11月27日、申5号「東海道線における踏切障検動作等多発による列車遅れ」に対する申し入れを行い、会社と協議を行いました。

会社は歩行者のモラルと道路管理者の問題として鉄道会社として具体的な責任と対策は答えませんでした。

会社回答

1. 2013年7月～9月までの踏切関係による列車遅れを全て明らかにすること。

【回答】個別の事案を全て明らかにする考えはない。

2. 以下の踏切において、最近の踏切障害物検知装置、踏切支障報知装置、踏切故障などによる列車遅れの状況を明らかにすること。

豊橋～西小坂井	「豊田踏切」
安城～西岡崎駅構内	「矢作天神踏切」
刈谷駅構内	「刈谷街道踏切」
枇杷島～清洲駅間	「寺野踏切」
清洲～稲沢駅間	「大垣街道踏切」「日下部踏切」
一宮～木曾川駅間	「奥村街道踏切」「郷東踏切」
木曾川駅構内	「倉の浦踏切」「岐阜街道踏切」
木曾川～岐阜駅間	「深沼踏切」「堂の前踏切」「川田踏切」

【回答】個別の事案を全て明らかにする考えはない。

3. 踏切障害物検知装置動作、踏切支障報知装置動作、踏切故障に対して原因を明らかにすること。

【回答】多くの事象の原因は通行者の警報開始後の無理な横断である。

4. 踏切障害物検知装置動作、踏切支障報知装置動作、踏切故障に対して対策を明らかにすること。

【回答】適宜適切に対応を行っている。

主な議論

- 組合：踏切障検装置作動により列車の遅れ回数が増えていると考えるが会社は現状についてどのように考えているのか。
- 会社：管内ではここ最近では微減である。
- 組合：東海道線は増えているのではないか。
- 会社：トータル件数では減っている。
- 組合：それは会社全体の事を云うのであって、踏切によっては増えている箇所もあるのではないか。
- 会社：刈谷街道踏切では対策によって減っている。
- 組合：尾張一宮、木曾川間ではどうなのか。
- 会社：一時的な事で多いと感じるのか少ないと感じるのかは感覚的なものではないか。
- 組合：乗務員の感覚からは、踏切確認などのマニュアルの変更により、列車遅れ時分が多くなったことにより踏切支障が多くなったと感覚している。踏切支障をなくしていくということで議論する。
- 会社：増えている場合はなぜかと原因を追及している。
- 組合：遮断器が上がらないので非常ボタンを押して通っていると云う噂話もあるが実際に押しボタンを押される事はないのか。
- 会社：押しボタンは1割程度であり、遮断器が降りる頃の無理な横断が多い。
- 組合：具体的な対策は考えているのか。
- 会社：原因は通行者による無理な横断である。啓蒙活動をやったり、踏切遮断器の視認性を向上させている。支障の多いところについては個別にやっている。
- 組合：なぜ通行者は無理な横断をするのか、その原因を調べたか。
- 会社：通行者のモラルが原因である。
- 組合：無理に渡らなければまた5分も10分も待たされるからではないのか。通行者のモラルだからと云っていたら、その内に関東の鉄道会社でおこった様に死傷事故が発生する事になるのではないか。
- 会社：会社としても対策は行っている。
- 組合：通行者を特定したことはあるのか。
- 会社：同じ人ばかりではないから無理である。
- 組合：列車往来妨害で注意したり、損害を求めることはできないのか。
- 会社：損害がない。警察ではないので捜査権がない。
- 組合：自由に通行できる、条件、設備を作るべきではないか。
- 会社：自治体と協議をしている。
- 組合：ほとんどの原因が通行者による無理な横断とするならば、熱田駅構内の御田踏切の様に、エレベータ付きの歩道橋を設置すること。
- 会社：JRだけで決めれる事ではない。
- 組合：誰かがやろうとしなければ何も進まない。JR東海も資金を出し歩道橋の設置を進めるべきだ。
- 会社：啓蒙活動も行っているし、自治体との協議も行っている。
- 組合：今後は国、県、地元市町村とうの自治体への働きかけと要請を交通企業として実施していくことを強く求める。組合としても命を守るために様々な場であらゆる議論を行う。

以 上